

東京地下鉄丸ノ内線・日比谷線向け レール破断検知システムを受注

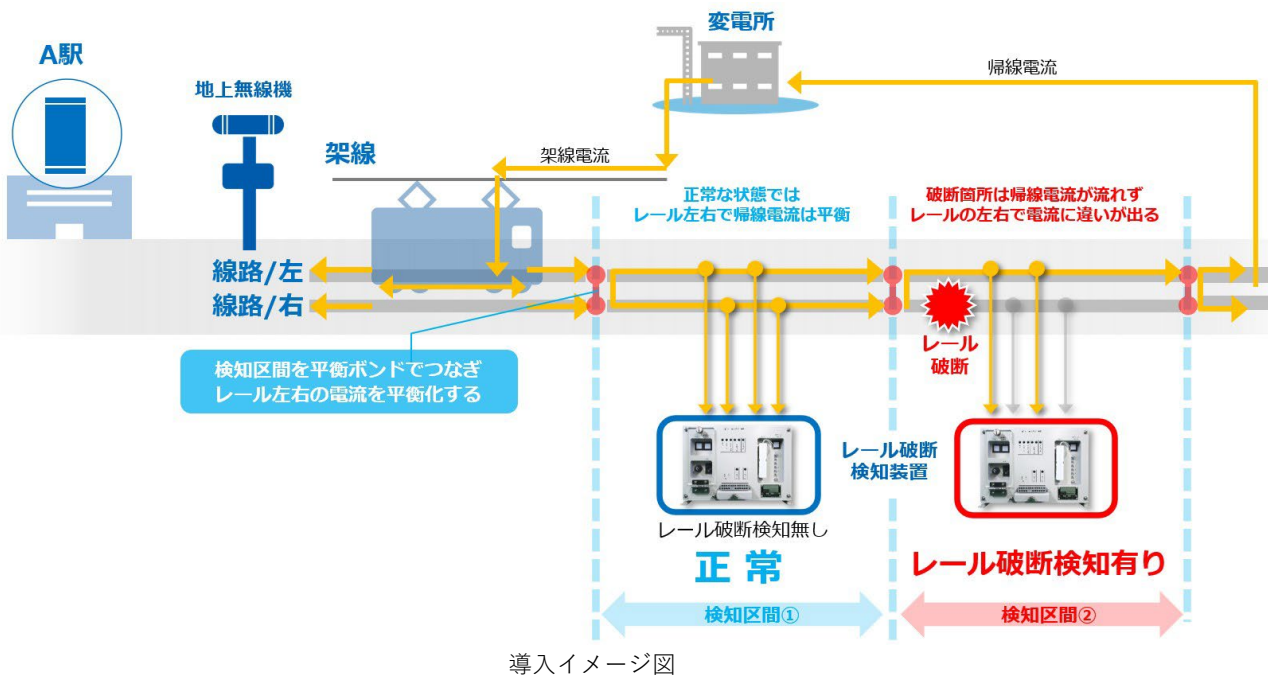
日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、東京地下鉄株式会社の丸ノ内線・日比谷線における、レール破断検知システム（以下、本システム）を受注いたしました。

本システムは、帰線電流^{※1}を活用してレールの破断情報を出力いたします。丸ノ内線、日比谷線は無線式列車制御システム（C B T Cシステム^{※2}）導入に伴い、軌道回路^{※3}が撤去され、レール破断を副次的に検知する機能がなくなります。このため、新たに本システムを納入いたします。

本システムの特徴は、主に以下の3点です。

- ・帰線電流に対して、左右レールでの平衡状態を監視。
- ・破断した箇所は帰線電流が流れず左右レールが不平衡状態となり、破断したセクションを検知。
- ・帰線電流を活用することにより、受信回路のみで検知可能。

当社は、今後もさらなる安全性向上と鉄道安全輸送の為に尽力してまいります。



※1 帰線電流…列車が架線より取り入れた電気を、レールを通して変電所に帰す電流。

※2 C B T C（Communications-Based Train Control）システム

…列車の安全・安定運行を制御するために無線通信技術を利用する信号保安システムの一つ。
地上装置が先行列車の位置などから後続列車が走行可能な位置を算出し、無線を介して後続列車に伝え、後続列車は自ら走行可能な速度を計算して運行を制御するシステム。

※3 軌道回路…レールに電流を流し、列車の有無によって電流の流れ方が変わることを利用し、列車が特定区間に在線しているかどうかを検知する装置。レール破断や機器の故障があった際も検知が可能。

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp